

7VT600-RZ/ 7VT600-RZ-C

AMD Athlon™ / Athlon™ XP / Duron™ ソケット A プロセッサマザーボード

ユーザーズマニュアル

改版 1002
12MJ-7VT600RZ-1002

著作権

© 2003 年 GIGABYTE TECHNOLOGY CO., LTD
GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD. ("GBT")が有します。GBT の書面による承諾なしに、本書の一部または全部を、転載または複製することを禁じます。

商標

本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

注

マザーボード上のラベルを剥さないでください、これに従わない場合は、本マザーボードの保証が無効にされる場合があります。
情報技術の急速な進歩により、本書を出版後、仕様が変更される場合がありますので、ご了承ください。
記載内容の誤り・不適切な表現、誤字脱字など、その結果生じたいかなる損害等に関しても、本書の作者は一切の責任を負いかねます。

Declaration of Conformity

We, Manufacturer/Importer
(full address)

G.B.T. Technology Träding GmbH
Ausschläger Weg 41, 1F, 20537 Hamburg, Germany

declare that the product
(description of the apparatus, system, installation to which it refers)

Mother Board

7VT600-RZ

is in conformity with

(reference to the specification under which conformity is declared)

in accordance with 89/336 EEC-EMC Directive

<input type="checkbox"/> EN 55011	Limits and methods of measurement of radio disturbance characteristics of industrial, scientific and medical (ISM) high frequency equipment	<input type="checkbox"/> EN 61000-3-2*	Disturbances in supply systems cause by household appliances and similar electrical equipment "Harmonics"
<input type="checkbox"/> EN 55013	Limits and methods of measurement of radio disturbance characteristics of broadcast receivers and associated equipment	<input type="checkbox"/> EN 61000-3-3*	Disturbances in supply systems cause by household appliances and similar electrical equipment "Voltage fluctuations"
<input type="checkbox"/> EN 55014	Limits and methods of measurement of radio disturbance characteristics of household electrical appliances, portable tools and similar electrical apparatus	<input type="checkbox"/> EN 50081-1	Generic emission standard Part 1: Residual commercial and light industry
<input type="checkbox"/> EN 55015	Limits and methods of measurement of radio disturbance characteristics of fluorescent lamps and luminaries	<input type="checkbox"/> EN 50081-2	Generic emission standard Part 2: Industrial environment
<input type="checkbox"/> EN 55020	Immunity from radio interference of broadcast receivers and associated equipment	<input type="checkbox"/> EN 50082-2	Generic emission standard Part 2: Industrial environment
<input checked="" type="checkbox"/> EN 55022	Limits and methods of measurement of radio disturbance characteristics of information technology equipment	<input type="checkbox"/> EN 55104	Immunity requirements for household appliances tools and similar apparatus
<input type="checkbox"/> DIN VDE 0855 <input type="checkbox"/> part10 <input type="checkbox"/> part12	Cabled distribution systems; Equipment for receiving and/or distribution from sound and television signals	<input type="checkbox"/> EN50091-2	EMC requirements for uninterruptible power systems (UPS)



(EC conformity marking)

The manufacturer also declares the conformity of above mentioned product
with the actual required safety standards in accordance with LVD 73/23 EEC

<input type="checkbox"/> EN 60065	Safety requirements for mains operated electronic and related apparatus for household and similar general use	<input type="checkbox"/> EN 60950	Safety for information technology equipment including electrical business equipment
<input type="checkbox"/> EN 60335	Safety of household and similar electrical appliances	<input type="checkbox"/> EN 50091-1	General and Safety requirements for uninterruptible power systems (UPS)

Manufacturer/Importer

(Stamp)

Date: Feb. 20, 2004

Signature: Timmy Huang
Name: Timmy Huang

DECLARATION OF CONFORMITY

Per FCC Part 2 Section 2.1077(a)



Responsible Party Name: G.B.T. INC. (U.S.A.)

Address: 17358 Railroad Street

City of Industry, CA 91748

Phone/Fax No: (818) 854-9338/ (818) 854-9339

hereby declares that the product

Product Name: Motherboard

Model Number: 7VT600-RZ

Conforms to the following specifications:

FCC Part 15, Subpart B, Section 15.107(a) and Section 15.109
(a), Class B Digital Device

Supplementary Information:

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful and (2) this device must accept any inference received, including that may cause undesired operation.

Representative Person's Name: ERIC LU

Signature: *Eric Lu*

Date: Feb. 20, 2004

コンピュータ側の準備

マザーボードと拡張カードには、非常に繊細な集積回路(IC)チップが搭載されています。静電気からICチップを保護するため、コンピュータを使用する際は必ず以下の注意事項に従ってください。

1. ケース内側を扱う際はコンピュータの電源プラグを抜いてください。
2. コンピュータのパーツを取り扱う前に、接地リストストラップを着用してください。リストストラップがない場合は、接地物または金属物に両手で触れてください。
3. パーツは端面を持つようにし、ICチップ、リード線、コネクタやその他パーツには触れないようにしてください。
4. システムからパーツを外す際は、必ず、パーツを帯電防止パッド、またはパーツ付属のバッグの上に置いてください。
5. マザーボードからATX電源コネクタを外す際には、ATX電源装置がオフになっていることをご確認ください。



注意

シャーシへマザーボードのインストール

マザーボードに取り付け穴がありますが、これらは基部の穴と合わなくて、スペーサーに取り付けスロットがない場合、心配しないでください。スペーサーは依然として取り付け穴に取り付けることができます。ただ、スペーサーの底部を切れると、(スペーサーは多少硬いので手を切らないようご注意ください)。これでマザーボードを基部にショートの心配なく、取り付けることができます。場合によっては取り付け穴付近に回路があるため、ネジがマザーボードPCB表面に触れないよう、プラスチックワッシャーを使用する必要があるかもしれません。この際、ネジが取り付け穴付近のPCBプリント配線回路や部品に触れないようご注意ください。接触するとボードの故障や動作不良を起こす可能性があります。

目次

第 1 章 はじめに	5
特長の概略	5
7VT600-RZ シリーズマザーボードレイアウト	7
ブロック図	8
ハードウェアのインストール手順	9
ステップ 1 : システムのジャンパを設定(JP1)	9
ステップ 2 : 中央処理ユニット(CPU)のインストール	10
ステップ 2-1 : CPU インストール	10
ステップ 2-2 : CPU 冷却ファンのインストール	10
ステップ 3 : メモリモジュールのインストール	11
ステップ 4 : 拡張カードのインストール	12
ステップ 5 : I/O 周辺機器ケーブルのインストール	12
ステップ 5-1 : I/O 後部パネルの紹介	12
ステップ 5-2 : コネクタはじめに	13
第 2 章 BIOS のセットアップ	21
メインメニュー(例 : BIOS Ver.: F4c)	21
Standard CMOS Features	23
Advanced BIOS Features	25
Integrated Peripherals	26
Power Management Setup	28
PnP/PCI Configurations	30
PCI Health Status	31
Frequency/Voltage Control	32
Load Fail-Safe Defaults	34
Load Optimized Defaults	34
Set Supervisor/User Password	35
Save & Exit Setup	36
Exit Without Saving	36
第 3 章 ドライバのインストール	37

第1章 はじめに

特長の概略

CPU	<ul style="list-style-type: none"> ソケット A プロセッサ AMD Athlon™ / Athlon™ XP / Duron™ (K7) 128K L1& 512K/256K/64K L2 キャッシュ 200/266/333/400 MHz FSB 1.4GHz 以上をサポート
チップセット	<ul style="list-style-type: none"> ノースブリッジ : VIA KT600 サウスブリッジ : VIA VT8235
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> 184 ピン DDR DIMM ソケット x 3 DDR DRAM PC2100/PC2700/PC3200 をサポート 最大 3.0GB の DDR 搭載可能 2.5V DDR DIMM のみをサポート
スロット	<ul style="list-style-type: none"> 1 個の AGP スロットは 8X/4X モード(1.5V)をサポート 5 個の PCI スロットは 33MHz および PCI 2.2 準拠
オンボード IDE	<ul style="list-style-type: none"> IDE コントローラ 2 個により、IDE HDD/CD-ROM (IDE1、IDE2) さらに PIO、バスマスター(Ultra DMA33/ATA66/ATA100/ATA133)モードに対応
オンボードフロッピー	<ul style="list-style-type: none"> フロッピーポートで容量 360K、720K、1.2M、1.44M および 2.88M の 2 基の FDD をサポート
オンボード周辺デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 1 個のパラレルポートで通常/EPP/ECP モードをサポート 2 個のシリアルポート(COM A および COM B) 6 個の USB 2.0/1.1(4 つはケーブルで接続) PS/2 キーボード/マウスインターフェースおよび PS/2 マウスインターフェース
オンボード LAN*	<ul style="list-style-type: none"> VIA VT6103L 1 個の RJ45 ポート
オンボードサウンド	<ul style="list-style-type: none"> Realtek ALC655 コーデック Jack-Sensing サポート ライン出力/2 個のフロントスピーカー ライン入力/2 個のリアスピーカー(s/w スイッチによる) マイク入力/センターおよびサブウーファー(s/w スイッチによる) SPDIF 出力/SPDIF 入力 CD 入力/AUX 入力/ゲームポート
オンボード USB 2.0	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵 VIA VT8235 チップセット
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> Award 公認 BIOS Q-Flash をサポート
I/O コントロール	<ul style="list-style-type: none"> IT8705
ハードウェアモニタ	<ul style="list-style-type: none"> CPU/システムファン回転数検出 CPU/システム温度検出 システム電圧検出 CPU/システムファン故障警告 過熱シャットダウン機能

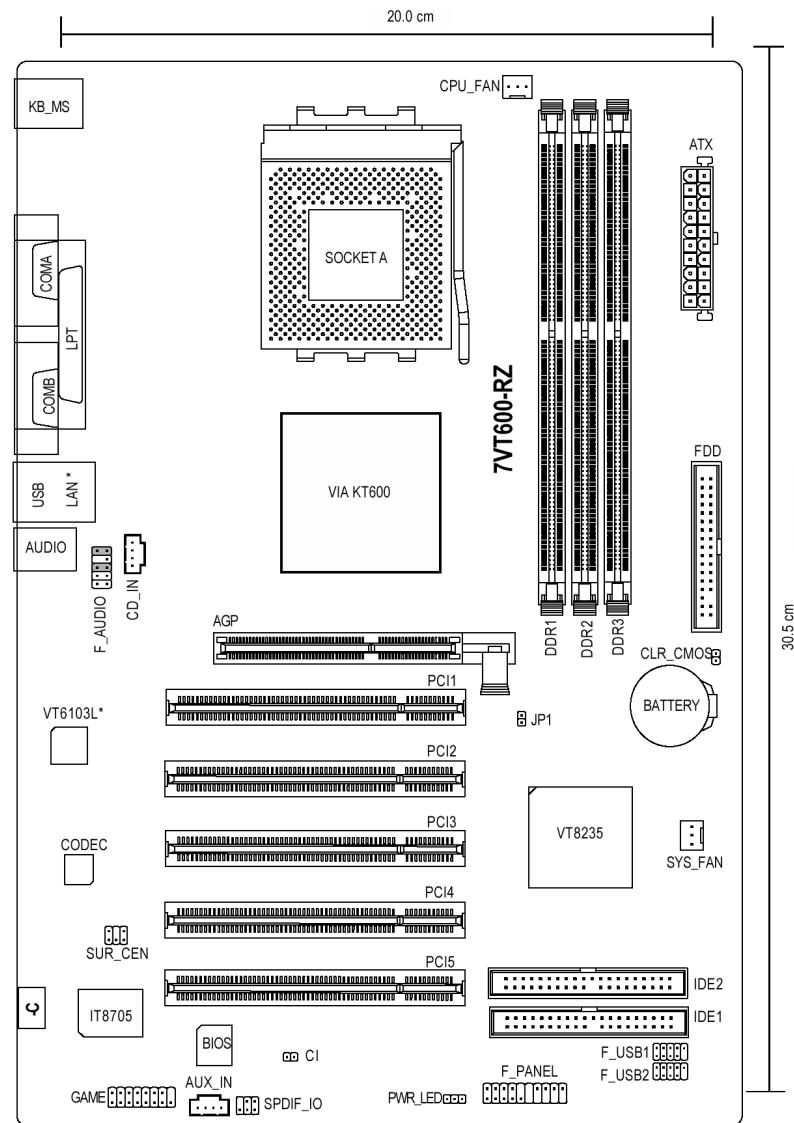
** 7VT600-RZ-C 用のみ。

その他の機能	<ul style="list-style-type: none">• パスワードによる PS/2 キーボード電源オン、• PS/2 マウスのダブルクリックによる電源オン• 外部モデムの wake up 機能• STR(RAM へのサスPEND)• AC 復帰• キーボード過電流保護用のポリヒューズ• S3 からの USB キーボード/マウスウェイクアップ• @BIOS をサポート• EasyTune 4 をサポート
オーバークロック	<ul style="list-style-type: none">• BIOS によるオーバー電圧(CPU/AGP/DDR/PCI)• BIOS によるオーバークロック(CPU/AGP/DDR/PCI)
フォームファクター	<ul style="list-style-type: none">• 30.5cm x 20.0cm ATX フォームファクター、4 層 PCB。



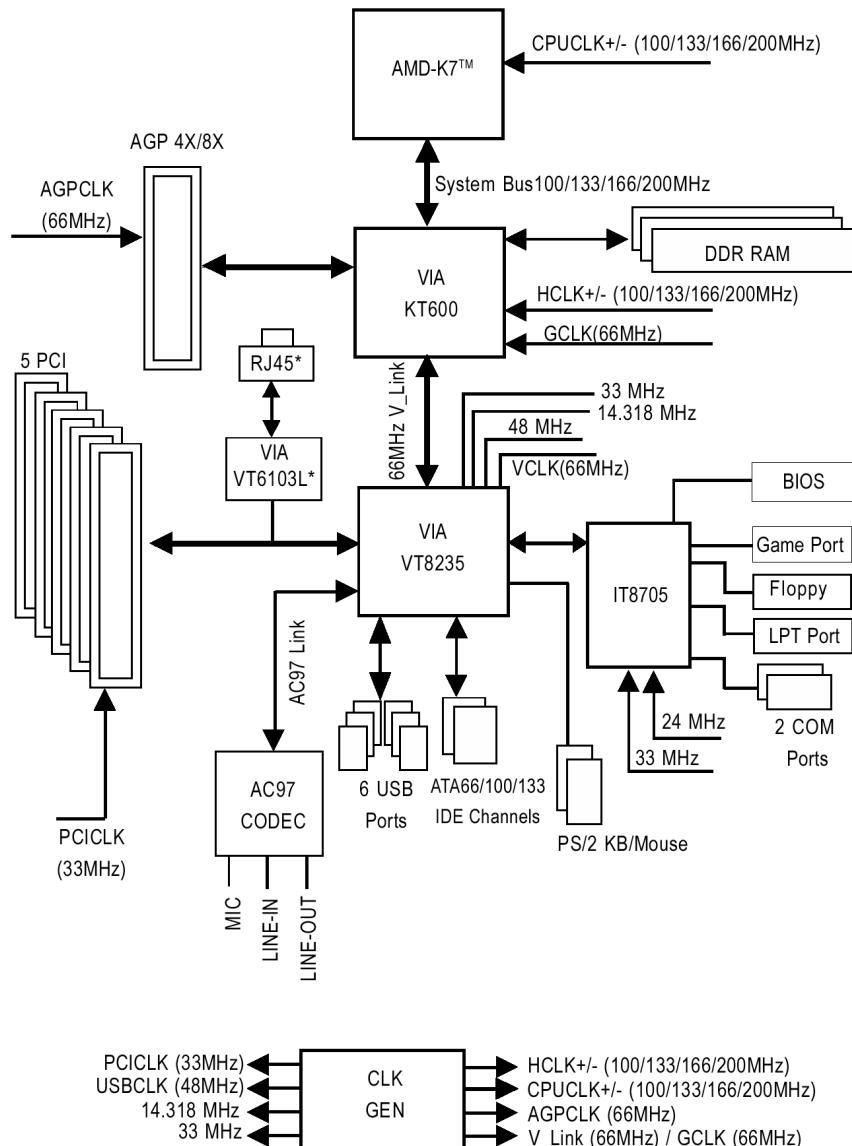
CPU ホストクロックはプロセッサ仕様にしたがって、設定してください。システムバスクロックを CPU の仕様を超えて設定することは、CPU、チップセットおよび周辺デバイスの標準仕様とは異なるバスクロックとなるのでお勧めしません。システムが指定されたバスクロックで正常動作するかどうかは、CPU、メモリ、カードなどのハードウェア設定に依存します。

7VT600-RZ シリーズマザーボードレイアウト



** 7VT600-RZ-C 用のみ。

ブロック図

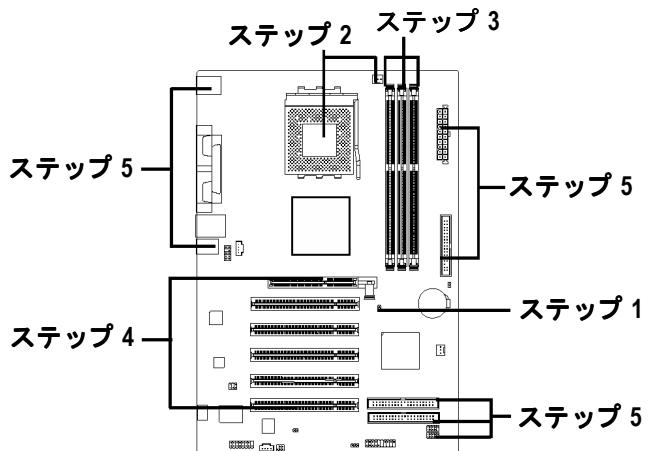


** 7VT600-RZ-C 用のみ。

ハードウェアのインストール手順

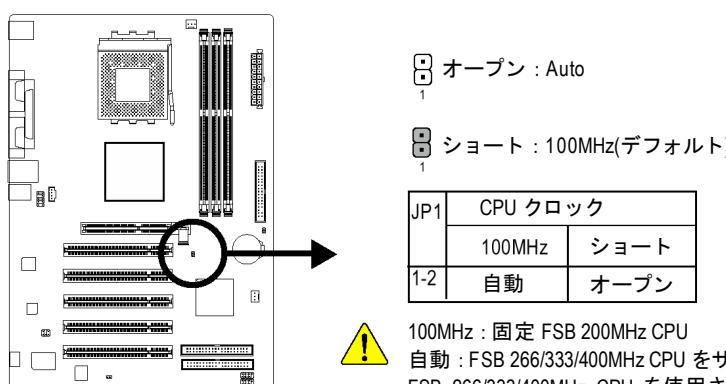
お持ちのコンピュータの設定には下記のステップを完成させる必要があります：

- ステップ 1—システムのジャンパを設定(JP1)
- ステップ 2—中央処理ユニット(CPU)のインストール
- ステップ 3—メモリモジュールのインストール
- ステップ 4—拡張カードのインストール
- ステップ 5—I/O 周辺機器ケーブルのインストール



ステップ 1：システムのジャンパを設定(JP1)

システムバスクロックはシステムジャンパ(JP1)調節によって 100/133/166/200MHz に設定可能。(初期状態のクロックは CPU に依存します。)



100MHz : 固定 FSB 200MHz CPU
 自動 : FSB 266/333/400MHz CPU をサポート
 FSB 266/333/400MHz CPU を使用される場合は、“JP1”は“Auto”に設定する必要があります。

ステップ 2 : 中央処理ユニット(CPU)のインストール



プロセッサのインストールに先立ち、以下の注意事項に注意深く従ってください：

1. CPU の形式がマザーボードでサポートされているものであることを確認してください。
2. ヒートシンクおよびファンがないとプロセッサが過熱し、修復不能な損傷を受ける可能性があります。
3. CPU ソケットの 1 番ピンと CPU カット部を一致させないと、インストールに問題が生じます。差す方向を合わせてください。
4. プロセッサと冷却ファンの間にはサーマルペーストを塗ってください。
5. ヒートシンクを正しく確実に装着せずに、プロセッサを駆動させることは絶対に避けてください。永久的なダメージを被ることになります。
6. CPU ホストクロックはプロセッサ仕様にしたがって、設定してください。システムバスクロックを CPU の仕様を超えて設定することは、CPU、チップセットおよび周辺デバイスの標準仕様とは異なるバスクロックとなるのでお勧めしません。システムが指定されたバスクロックで正常動作するかどうかは、CPU、メモリ、カードなどのハードウェア設定に依存します。

ステップ 2-1 : CPU インストール

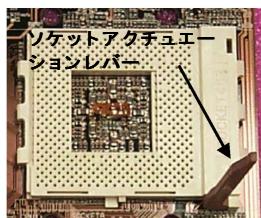


図 1：
レバーは 90 度まで引き上げます。

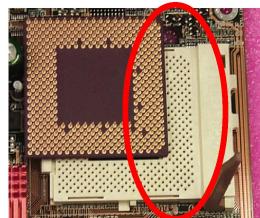


図 2：
ソケットの 1 番ピンの位置を確認し、CPU 上部の(金色の)カット部の位置を確かめます。CPU をソケットに差します。(CPU を無理にソケットに押し込まないでください。)その後、CPU の中央を押さえながら、ソケットレバーをロック位置まで下ろします。

ステップ 2-2 : CPU 冷却ファンのインストール

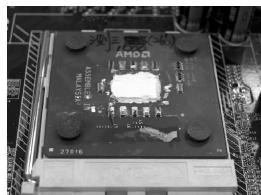


図 1：
サーマルテープ(又は、グリース)を利用し、ご使用の CPU と冷却ファンの間に比較的に良い熱伝導を提供します。



図 2：
マザーボード上の CPU ソケットに冷却ファン固定用ベースを取り付けます。

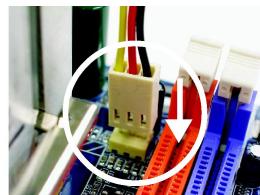


図 3：
CPU ファンが CPU ファンコネクタに接続されていることをご確認ください。これでインストール完了です。

ステップ3：メモリモジュールのインストール

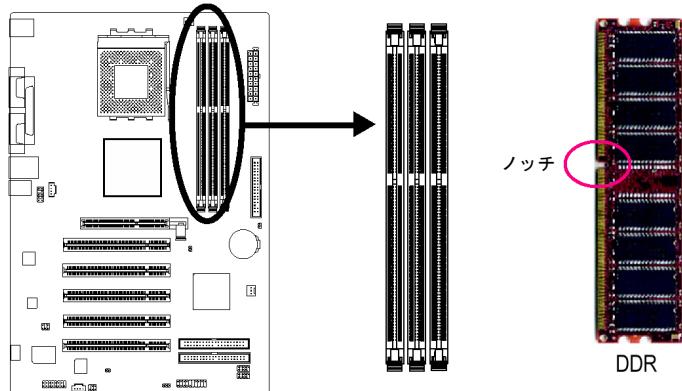


メモリモジュールのインストールに先立ち、以下の注意事項に注意深く従ってください。

注意

1. DIMM LED が点灯している時に DIMM をインストール・取外ししないでください。
2. DIMM モジュールはノッチにより一方向にしか差せないようになっている点にご注意ください。方向を間違えるとインストールに失敗します。差す方向を合わせてください。

マザーボードには3個のデュアルインラインメモリモジュール(DIMM)ソケットが装備されています。BIOS がメモリ形式および容量を自動的に検出します。メモリモジュールをインストールするには、DIMM ソケットに真っ直ぐ押し込みます。DIMM モジュールはノッチにより一方向にしか差せないようになっています。メモリ容量はソケットごとに異なっていても構いません。



バッファなし DDR DIMM サイズタイプ対応表

64Mbit (2Mx8x4 バンク)	64Mbit (1Mx16x4 バンク)	128Mbit (4Mx8x4 バンク)
128Mbit (2Mx16x4 バンク)	256Mbit (8Mx8x4 バンク)	256Mbit (4Mx16x4 バンク)
512Mbit (16Mx8x4 バンク)	512Mbit (8Mx16x4 バンク)	

トータルシステムメモリ(最大 3GB)



1. DIMM モジュールはDIMM ソケットのノッチにより一方向にしか差せないようになっています。



2. DIMM メモリは、DIMM ソケットに真っ直ぐ差します。そして下方に押します。



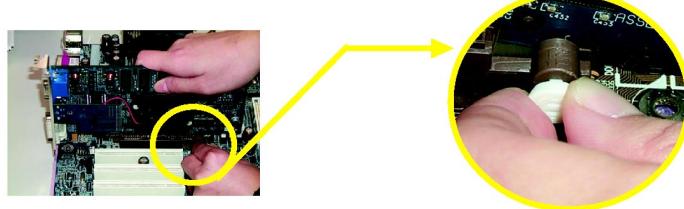
3. DIMM ソケットの両側にあるプラスチックのクリップを閉じて、DIMM モジュールを固定します。
DIMM モジュールを取り外すにはインストールと逆の手順で行います。

ステップ 4 : 拡張カードのインストール

1. 拡張カードのインストールに先立ち、関連した指示説明をお読みください。
2. お使いの AGP カードが 4X/8X (1.5V) であるかを確認してください。



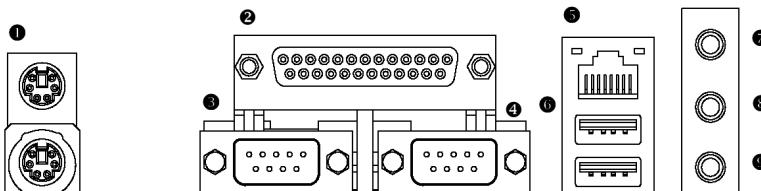
3. AGP カードの装着/取り外し時には、AGP スロット端の小さい白色の取り外しバーを注意深く引いてください。AGP カードをオンボード AGP スロットにそろえ、スロットに確実に押し込んでください。ご使用になる AGP カードが小さな白いバーによってロックされたことを確認してください。



AGP カード

ステップ 5 : I/O 周辺機器ケーブルのインストール

ステップ 5-1 : I/O 後部パネルの紹介



① PS/2 キーボードおよび PS/2 マウスコネクタ

当コネクタは標準の PS/2 キーボードおよび PS/2 マウスをサポートしています。

② パラレルポート (LPT)

プリンタ等の装置がパラレルポートに接続されます。

③/④ シリアルポート (COMA/COMB)

マウス及びモデム等がシリアルポートに接続されます。

⑤ LAN ポート*

LAN は 10/100Mbps 速度の高速イーサネットです。

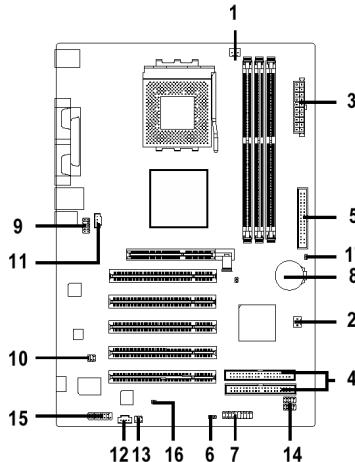
⑥ USB ポート

USB コネクタに USB キーボード、マウス、スキャナー、zip、スピーカーなどを接続する前に、ご使用になるデバイスが標準の USB インタフェースを装備していることをご確認ください。またご使用の OS が USB コントローラをサポートしていることもご確認ください。ご使用の OS が USB コントローラをサポートしていない場合は、OS ベンダーに利用可能なパッチやドライバの更新についてお問い合わせください。詳細はご使用の OS やデバイスのベンダーにお問い合わせください。

** 7VT600-RZ-C 用のみ。

- ⑦ **ライン出力ジャック**
ステレオスピーカーまたはイヤホーンをこのコネクタに接続します。
- ⑧ **ライン入力ジャック**
CD-ROM やウォークマンなどの装置はライン入力ジャックに接続できます。
- ⑨ **マイク入力ジャック**
マイクロフォンはマイク入力ジャックに接続できます。
オーディオドライバをインストールした後、ソフトウェア選択により、2/4/6 チャネルオーディオ特徴が使用できます。“フロントスピーカー”を“ライン出力”ジャックに、“リアスピーカー”を“ライン入力”ジャックに、“センター/ハブウーハー”を“マイク入力”ジャックに接続することができます。

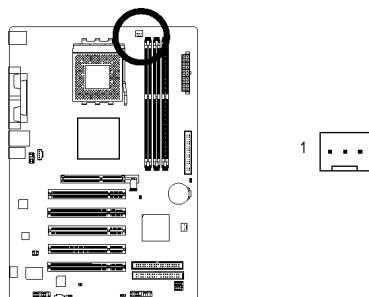
ステップ 5-2 : コネクタはじめに



1) CPU_FAN	10) SUR_CEN
2) SYS_FAN	11) CD_IN
3) ATX (ATX Power)	12) AUX_IN
4) IDE1 / IDE2	13) SPDIF_IO
5) FDD	14) F_USB1 / F_USB2
6) PWR_LED	15) GAME
7) F_PANEL	16) CI (Case Open)
8) BATTERY	17) CLR_CMOS
9) F_AUDIO	

1) CPU_FAN(CPU ファンコネクタ)

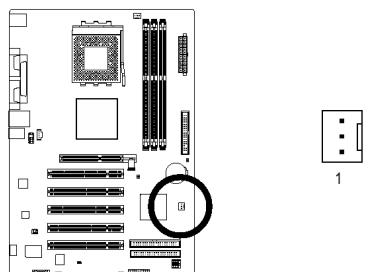
CPU クーラーの適切なインストールは、CPU が異常動作をしたり過熱による損傷を受けたりするのを防止するのに大切である点にご注意ください。CPU ファンコネクタの最大許容電流は 600 mA です。



ピン番号	定義
1	GND
2	+12V
3	Sense

2) SYS_FAN(システムファンコネクタ)

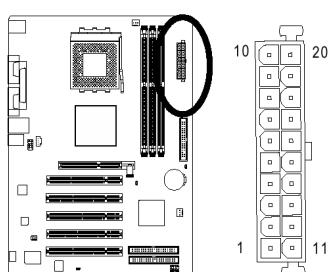
当コネクタにより、システムケース上部の冷却ファンでシステム温度を下げることができます。



ピン番号	定義
1	GND
2	+12V
3	Sense

3. ATX(ATX 電源コネクタ)

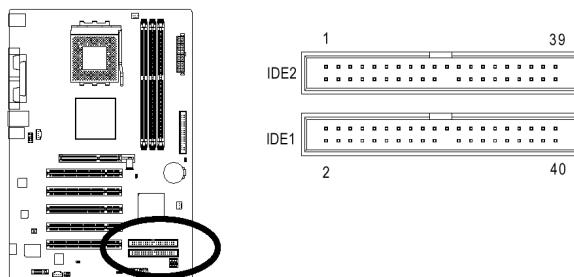
ATX 電源ケーブルおよびその他関連デバイスを確実にマザーボードに接続してからこそ、AC 電源コードを電源装置に接続できます。



ピン番号	定義	ピン番号	定義
1	3.3V	11	3.3V
2	3.3V	12	-12V
3	GND	13	GND
4	VCC	14	PS_ON(ソフトオン/オフ)
5	GND	15	GND
6	VCC	16	GND
7	GND	17	GND
8	電源装置	18	-5V
9	5V SB(スタンバイ+5V)	19	VCC
10	+12V	20	VCC

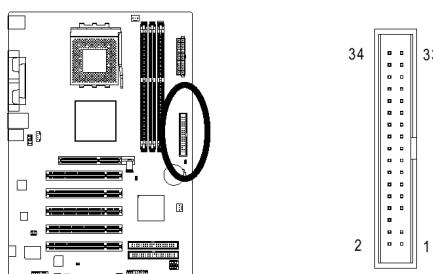
4) IDE1 / IDE2 (IDE1 / IDE2 コネクタ)

まずハードディスクをIDE1に、CD-ROMドライブをIDE2に接続してください。リボンケーブルの赤い線の側を1番ピンに合わせます。



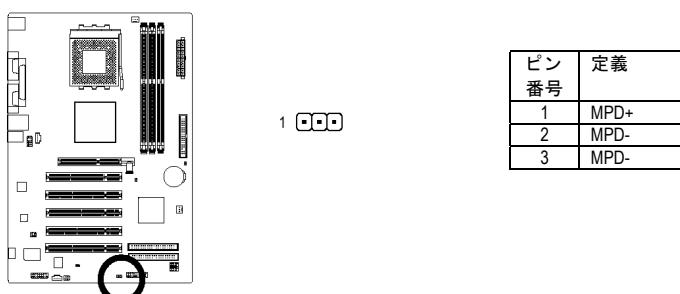
5) FDD(フロッピーコネクタ)

フロッピードライブのリボンケーブルはFDDに接続してください。サポートされているフロッピーディスクのタイプは360K、720K、1.2M、1.44Mおよび2.88Mバイトです。リボンケーブルの赤い線の側を1番ピンに合わせます。



6) PWR_LED

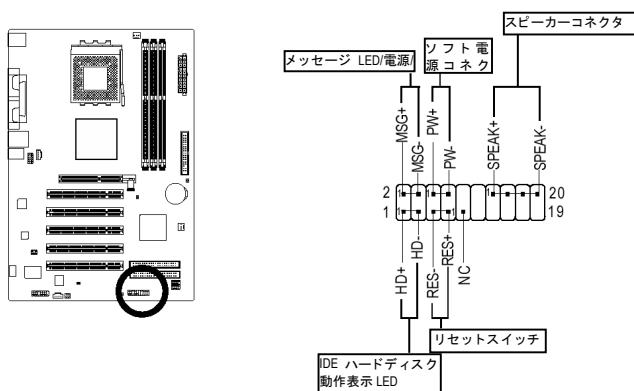
PWR_LEDはシステム電源表示ランプに接続してシステムのオン/オフを表示します。システムがサスPENDモードになると点滅します。2色LEDをご使用の場合は、電源LEDは別の色に点灯します。



7) IDE1/ IDE2 (IDE1/IDE2 コネクタ)

重要なご注意 :

まずハードディスクを IDE1 に、CD-ROM ドライブを IDE2 に接続してください。
リボンケーブルの赤い線の側を 1 番ピンに合わせます。



HD (IDE ハードディスク動作表示 LED)	ピン 1 : LED 正極(+) ピン 2 : LED 負極(-)
SPK(スピーカーコネクタ)	ピン 1 : VCC (+) ピン 2-ピン 3 : NC ピン 4 : Data (-)
RES(リセットスイッチ)	オープン : 通常動作時 ショート : ハードウェアシステムのリセット
PW(ソフト電源コネクタ)	オープン : 通常動作時 ショート : 電源オン/オフ
MSG(メッセージ LED/電源/スリープ LED)	ピン 1 : LED 正極(+) ピン 2 : LED 負極(-)
NC	NC

8) BATTERY(バッテリー)

注意

- ❖ バッテリーの交換を間違えると爆発の危険があります。
- ❖ メーカー推奨と同一のタイプの物と交換してください。
- ❖ 使用済みバッテリーはメーカーの指示に従って廃棄してください。

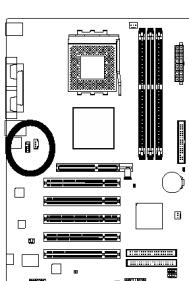
CMOS 内容を消去するには...

1. コンピュータをオフにし、電源コードのプラグを外します。
2. バッテリーを外して、30秒放置します。
3. バッテリーを入れなおします。
4. 電源コードのプラグを差し、コンピュータをオンにします。

9) F_AUDIO(フロントオーディオコネクタ)

フロントオーディオコネクタを使用する場合は、5-6、9-10 番ジャンパーを外す必要があります。

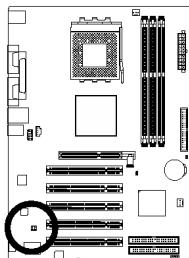
フロントオーディオヘッダーを利用するには、お持ちのシャーシにフロントオーディオコネクタが装備されている必要があります。また、ケーブルのピン配列がマザーボードヘッダーのピン配列と同じであることをご確認ください。お買い求めのシャーシがフロントオーディオコネクタを装備しているかどうかは、お買い上げ店にお確かめください。サウンド再生にはフロントオーディオコネクタとリアオーディオコネクタが同様に使用可能です。



ピン番号	定義
1	MIC
2	GND
3	REF
4	電源
5	フロントオーディオ(R)
6	リアオーディオ(R)
7	予備
8	ピンなし
9	フロントオーディオ(L)
10	リアオーディオ(L)

10) SUR_CEN(サラウンドセンターコネクタ)

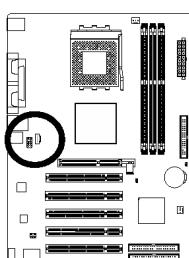
オプション装備の SUR_CEN ケーブルは最寄の販売店にお問い合わせ下さい。



ピン番号	定義
1	SUROUTL
2	SUROUTR
3	GND
4	ピンなし
5	CENTER_OUT
6	BASS_OUT

11) CD_IN (CD 入力コネクタ)

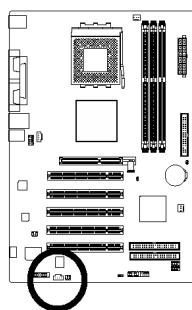
CD-ROM または DVD-ROM のオーディオ出力はこのコネクタに接続します。



ピン番号	定義
1	CD-L
2	GND
3	GND
4	CD-R

12) AUX_IN (AUX 入力コネクタ)

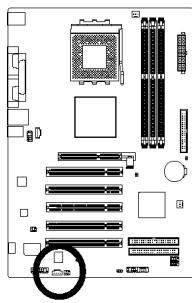
他のデバイス(例えば PCI TV チューナーの音声出力)をコネクタに接続してください。



ピン番号	定義
1	AUX-L
2	GND
3	GND
4	AUX-R

13) SPDIF_IO (SPDIF 入/出力コネクタ)

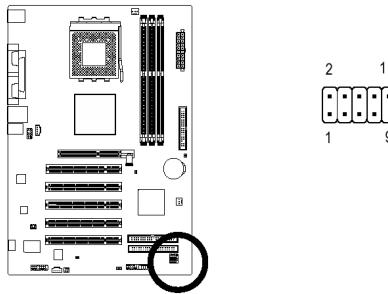
SPDIF 出力はデジタルオーディオを外部スピーカーに、AC3 圧縮データを外部ドルビーデジタルデコーダーに出力できます。この機能はお持ちのステレオ装置がデジタル入力と出力機能を装備している場合のみ使用可能です。SPDIF 入力機能はご使用の装置がデジタル出力機能を装備している場合のみ使用可能です。SPDIF_IO コネクタの極性にご注意ください。SPDIF ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備の SPDIF ケーブルのお求めには地元の販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	VCC
2	ピンなし
3	SPDIF
4	SPDIFI
5	GND
6	GND

14) F_USB1 / F_USB2(フロント USB コネクタ)

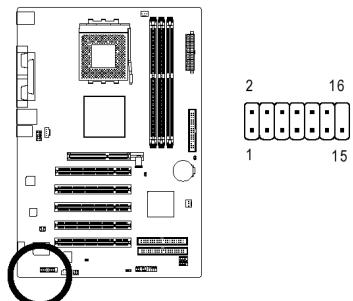
F_USB コネクタの極性にご注意ください。F_USB ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備のF_USBケーブルのお求めにはトルの販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	電源
2	電源
3	USB0 DX-/USB2 DX-
4	USB1 Dy-/USB3 Dy-
5	USB0 DX+/USB2 DX+
6	USB1 Dy+/USB3 Dy+
7	GND
8	GND
9	ピンなし
10	NC

15) GAME(ゲームコネクタ)

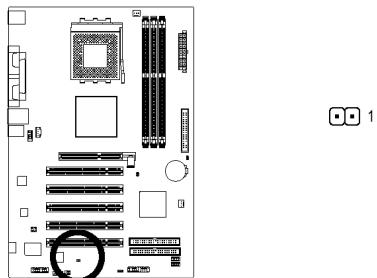
このコネクタはジョイスティック、MIDIキーボードおよびその他関連オーディオデバイスをサポートしています。ゲームケーブルを接続の際は、ピン配列にご注意ください。オプション装備のゲームケーブルは最寄の販売店にお問い合わせ下さい。



ピン番号	定義	ピン番号	定義
1	VCC	9	GPSA1
2	GRX1_R	10	GND
3	GND	11	GPY1_R
4	GPSA2	12	VCC
5	VCC	13	GPSB1
6	GPX2_R	14	MSO_R
7	GPY2_R	15	GPSB2
8	MSI_R	16	ピンなし

16) CI(ケース侵入、ケース開放)

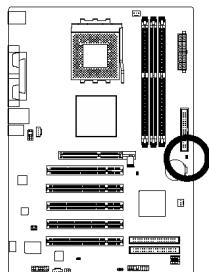
この2ピンコネクタはBIOSの“Case Open”項目の有効または無効にでき、本体ケースが開けられたことの検出に使用されます。



ピン番号	定義
1	信号
2	GND

17) CLR_CMOS (CMOS クリア)

このジャンパーにより、CMOS データをクリアしてデフォルト値に復元できます。
CMOS のクリアには一時的に 1-2 番ピンをショートさせます。デフォルトではジャンパーの不適切な使用を防ぐ“シャンター(shunter)”はありません。



1 短く : CMOS クリア

1 オープン : 通常

第2章 BIOS のセットアップ

BIOS のセットアップでは BIOS セットアッププログラムの概要を説明します。プログラムにより、ユーザーは基本システム設定を変更できます。このタイプのデータはバッテリーバック(battery-backed)付き CMOS RAM に保存されるので、電源をオフにしてもセットアップデータは保たれます。

セットアップの起動

コンピュータをオンにし、すぐにを押すと、セットアップが起動されます。BIOS の詳細設定が必要な場合は、“Advanced BIOS”設定メニューに移ってください。Advanced BIOS 設定メニューは BIOS 画面で“Ctrl+F1”キー操作で表示されます。

制御用キー

<↑><↓><←><→>	選択項目に進む
<Enter>	項目の選択
<Esc>	メインメニュー—CMOS Status Page Setup Menu と Option Page Setup Menu を変更せずに終了—現在のページを終了し、メインメニューに戻る
<+/PgUp>	数値を増加または変更
<-/PgDn>	数値を減少または変更
<F1>	一般のヘルプ、Status Page Setup Menu および Option Page Setup Menu のみを対象
<F2>	項目のヘルプ
<F5>	CMOS を前の CMOS 設定に戻す、Option Page Setup Menu のみを対象
<F6>	BIOS デフォルトテーブルから安全なデフォルト CMOS 設定値をロード
<F7>	最適デフォルト値をロード
<F8>	Q-Flash ユーティリティ
<F9>	システム情報
<F10>	CMOS 変更を全て保存、メインメニューのみを対象

メインメニュー

ハイライト表示された設定機能のオンライン説明がスクリーン下部に表示されます。

status page setup メニュー/Option Page Setup メニュー

F1 を押すとハイライト表示された項目に使用可能なキーおよび可能な選択内容が小さなウィンドウに表示されます。ヘルプウィンドウを閉じるには<Esc>を押します。

メインメニュー(例: BIOS Ver.: F4c)

Award BIOS CMOS セットアップユーティリティを起動すると、画面にメインメニュー(下図に参照)が表示されます。メインメニューから設定機能8項目および2種類が選ばれます。矢印キーで項目を選び<Enter>を押して決定、またはサブメニューに進みます。

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software	
▶ Standard CMOS Features	Load Fail-Safe Defaults
▶ Advanced BIOS Features	Load Optimized Defaults
▶ Integrated Peripherals	Set Supervisor Password
▶ Power Management Setup	Set User Password
▶ PnP/PCI Configurations	Save & Exit Setup
▶ PC Health Status	Exit Without Saving
▶ Frequency/Voltage Control	
ESC: Quit	↑↓←→: Select Item
F8: Q-Flash	F10: Save & Exit Setup
Time, Date, Hard Disk Type...	



注

必要な設定項目が見当たらない場合は、“Ctrl+F1”を押して詳細設定を展開してください。

- **Standard CMOS Features**

この設定ページには標準互換 BIOS 内の項目全部が含まれています。

- **Advanced BIOS Features**

この設定ページには Award 専用拡張機能の項目全部が含まれています。

- **Integrated Peripherals**

この設定ページにはオンボードペリフェラル項目が全て含まれています。

- **Power Management Setup**

この設定ページには節電機能関連項目が全て含まれています。

- **PnP/PCI Configuration**

この設定ページには PCI およびプラグアンドプレイ ISA リソースの設定項目が全て含まれています。

- **PC Health Status**

この設定ページは、システムにより自動検出された温度、電圧、ファン速度が表示されます。

- **Frequency/Voltage Control**

この設定ページは CPU クロックおよびクロックレシオを調節するものです。

- **Load Fail-Safe Defaults**

Fail-Safe Defaults はシステムが安定動作する設定値を表示します。

- **Load Optimized Defaults**

Optimized Defaults はシステムが最良の性能で動作する設定値を表示します。

- **Set Supervisor Password**

パスワードの変更、設定、無効化を行います。これでシステムおよびセットアップ、またはセットアップのみへのアクセスを制限します。

- **Set User Password**

パスワードの変更、設定、無効化を行います。これでシステムへのアクセスを制限します。

- **Save & Exit Setup**

CMOS 設定値を CMOS に保存し、セットアップを終了します。

- **Exit Without Saving**

CMOS 設定値を全てキャンセルし、セットアップを終了します。

Standard CMOS Features

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software
Standard CMOS Features

		Item Help
Date (mm:dd:yy)	Fri, Jan 9 2004	Menu Level▶ Change the day, month, year
Time (hh:mm:ss)	22:31:24	<Week> Sun. to Sat.
► IDE Primary Master	[None]	<Month> Jan. to Dec.
► IDE Primary Slave	[None]	<Day> 1 to 31 (or maximum allowed in the month)
► IDE Secondary Master	[None]	<Year> 1999 to 2098
► IDE Secondary Slave	[None]	
Drive A	[1.44M, 3.5"]	
Drive B	[None]	
Floppy 3 Mode Support	[Disabled]	
Halt On	[All, But Keyboard]	
Base Memory	640K	
Extended Memory	127M	
Total Memory	128M	
↑↓←→: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save F5: Previous Values F6: Fail-Save Default		ESC: Exit F1: General Help F7: Optimized Defaults

⌚ Date

日付のフォーマットは<曜日>、<月>、<日>、<年>です。

- Week 日曜から土曜までの曜日は BIOS で設定され、表示用のみです
- Month 月は 1 月から 12 月までです。
- Day 日は 1 から 31(またはその月に存在する日数)までです
- Year 年は 1999 から 2098 までです

⌚ Time

時刻のフォーマットは<時> <分> <秒>です。時刻は 24 時間制です。例えば午後 1 時は 13:00:00 となります。

⌚ IDE Primary Master, Slave / Secondary Master, Slave

この項目はコンピュータにインストールされたドライブ C から F までのハードディスクのタイプを検出します。タイプはオートとマニュアルの 2 種類があります。マニュアルタイプはユーザー定義可能です。オートタイプは HDD のタイプを自動検出します。

ご使用のドライブの仕様はドライブテーブルと一致している必要があります。この項目で不正確なデータを入力すると、ハードディスクは正常に動作しません。

ユーザータイプを選択すると、以下の項目の入力を求められます。必要なデータをキーボード入力し、<Enter>を押します。これらの情報はご使用のハードディスクベンダーまたはシステムメーカーからの説明書に載せられています。

- Capacity: ハードディスクサイズ。単位はメガバイト(MB)。
 - Access Mode: オプション: 自動/大/LBA/通常。
 - Cylinder: ハードディスクのシリングダ数です。
 - Head ハードディスクの読み取り/書き込みヘッド数です。
 - Precomp ディスクドライバが書き込み速度を変更するシリングダ数です。
 - Landing Zone ディスクドライバが読み書きを行うシリングダ数は、ディスクドライブを取り付ける際に決定されます。
 - SECTORS ハードディスク上に各トラックのセクタ数。
- ハードディスクがインストールされていない場合は NONE を選び、<Enter>を押します。

☞ **Drive A / Drive B**

この項目はコンピュータにインストールされたフロッピードライブ A またはドライブ B のタイプを設定します。

- ▶ None フロッピードライブはインストールされていません
- ▶ 360K, 5.25" 5.25 インチ PC 内蔵標準ドライブ；容量は 360K バイト。
- ▶ 1.2M, 5.25" 5.25 インチ AT タイプ高密度ドライブ；容量は 1.2M バイト(3 モードが有効の場合は 3.5 インチ)。
- ▶ 720K, 3.5" 3.5 インチ両面ドライブ；容量は 720K バイト
- ▶ 1.44M, 3.5" 3.5 インチ両面ドライブ；容量は 1.44M バイト。
- ▶ 2.88M, 3.5" 3.5 インチ両面ドライブ；容量は 2.88M バイト。

☞ **フロッピー3 モードをサポート(日本国内用)**

- ▶ Disabled 通常のフロッピードライブ。(デフォルト値)
- ▶ Drive A ドライブ A の 3 モード機能を有効にします。
- ▶ Drive B ドライブ B の 3 モード機能を有効にします。
- ▶ Both ドライブ A および B は 3 モードフロッピードライブです。

☞ **Halt on**

この項目で電源投入時にエラー検出があった場合に、コンピュータを停止するかどうかを決定します。

- ▶ NO Errors システム起動時にエラー検出があって表示されても、続行します。
- ▶ All Errors BIOS が重大ではないエラーを検出しても、システムは停止します。
- ▶ All, But Keyboard システム起動はキーボードエラーでは続行しますが、それ以外のエラーでは停止します。(デフォルト値)
- ▶ All, But Diskette システム起動はディスクエラーでは続行しますが、それ以外のエラーでは停止します。
- ▶ All, But Disk/Key システム起動はキーボードエラーまたはディスクエラーでは続行しますが、それ以外のエラーでは停止します。

メモリ

この項目は表示のみで、BIOS の POST(電源起動時セルフテスト)によって判断されます。

ベースメモリ

BIOS の POST はシステムにインストールされているベース(コンパニショナル)メモリ容量を検出します。OPL ベースメモリ容量は通常 512 K 搭載のマザーボードではシステム用に 512 K で、640 K 以上搭載のマザーボードではシステム用に 640 K となります。

拡張メモリ

BIOS は POST 中に拡張メモリ容量を検出します。これは CPU メモリアドレスマップ上で 1M バイト以上に位置する容量です。。

Advanced BIOS Features

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software
Advanced BIOS Features

First Boot Device	[Floppy]	Item Help
Second Boot Device	[HDD-0]	Menu Level▶ Select Boot Device
Third Boot Device	[CDROM]	priority
Password Check	[Setup]	
		[Floppy] Boot from floppy
		[LS120] Boot from LS120
		[HDD-0] Boot from First HDD
		[HDD-1] Boot from Second HDD

↑↓→←: Move Enter: Select +/- /PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help
F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults

☞ First / Second / Third Boot device

● この機能は起動デバイスの優先順位を決定します。

- ▶ Floppy 起動用デバイスの優先順位でフロッピーを指定します。
- ▶ LS120 起動用デバイスの優先順位で LS120 を指定します。
- ▶ HDD-0~3 起動用デバイスの優先順位で HDD-0~3 を指定します。
- ▶ SCSI 起動用デバイスの優先順位で SCSI を指定します。
- ▶ CDROM 起動用デバイスの優先順位で CDROM を指定します。
- ▶ LAN 起動用デバイスの優先順位で LAN を指定します。
- ▶ USB-CDROM 起動用デバイスの優先順位で USB-CDROM を指定します。
- ▶ USB-ZIP 起動用デバイスの優先順位で USB-ZIP を指定します。
- ▶ USB-FDD 起動用デバイスの優先順位で USB-FDD を指定します。
- ▶ USB-HDD 起動用デバイスの優先順位で USB-HDD を指定します。
- ▶ ZIP 起動用デバイスの優先順位で ZIP を指定します。
- ▶ Disabled この機能を無効にします。

☞ Password Check

- ▶ System プロンプト時に正しいパスワードが入力されない場合は、システムは起動せず、セットアップ画面も表示できません。
- ▶ Setup プロンプト時に正しいパスワードが入力されない場合は、システムは起動しますが、セットアップ画面は表示できません。
(デフォルト値)

Integrated Peripherals

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2003 Award Software
Integrated Peripherals

		Item Help
OnChip IDE Channel0	[Enabled]	Item Help
OnChip IDE Channel1	[Enabled]	Menu Level ►
AC97 Audio	[Auto]	
VIA Onboard LAN *	[Enabled]	
USB 1.1 Controller	[Enabled]	
USB 2.0 Controller	[Enabled]	
USB Keyboard Support	[Enabled]	
USB Mouse Support	[Disabled]	
VIA LAN Boot ROM *	[Disabled]	
Onboard Serial Port 1	[3F8/IRQ4]	
Onboard Serial Port 2	[2F8/IRQ3]	
Onboard Parallel Port	[378/IRQ7]	
UART Mode Select	[Normal]	
Parallel Port Mode	[SPP]	
Game Port Address	[201]	
Midi Port Address	[330]	
Midi Port IRQ	10	

↑↓→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help
F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults

☞ OnChip IDE Channel0

- 有効に設定されている場合は、オンボードプライマリ PCI IDE を使用することができます。ハードディスクコントローラカードをご使用の場合は、無効に設定してください。
 - ▶ Enabled オンボードのプライマリチャンネル IDE のポートを有効にします。(デフォルト値)
 - ▶ Disabled オンボードのプライマリチャンネル IDE のポートを無効にします。

☞ OnChip IDE Channel1

- 有効に設定されている場合は、オンボードセカンダリ PCI IDE を使用することができます。ハードディスクコントローラカードをご使用の場合は、無効に設定してください。
 - ▶ Enabled オンボードのセカンダリチャンネル IDE のポートを有効にします。(デフォルト値)
 - ▶ Disabled オンボードのセカンダリチャンネル IDE のポートを無効にします。

☞ AC97 Audio

- ▶ Enabled BIOS はオンボード AC97 オーディオを自動的に検出します。(デフォルト値)
- ▶ Disabled AC97 オーディオを無効にします。

☞ VIA Onboard LAN*

- ▶ Enabled VIA オンボード LAN 機能を有効にします。(デフォルト値)
- ▶ Disabled この機能を無効にします。

☞ USB 1.1 Controller

- オンボード USB 機能をご使用でない場合は、このオプションを無効にしてください。
 - ▶ Enabled USB コントローラを有効にします。(デフォルト値)
 - ▶ Disabled USB コントローラを無効にします。

☞ USB 2.0 Controller

- オンボード USB2.0 機能をご使用でない場合は、このオプションを無効にしてください。
 - ▶ Enabled USB 2.0 コントローラを有効にします。(デフォルト値)
 - ▶ Disabled USB 2.0 コントローラを無効にします。

*** 7VT600-RZ-C 用のみ。

- ⌚ **USB Keyboard Support**
 - USB キーボードがインストールされている場合は有効に設定してください。
 - ▶ Enabled USB キーボードサポートを有効にします。
 - ▶ Disabled USB キーボードサポートを無効にします。(デフォルト値)
- ⌚ **USB Mouse Support**
 - ▶ Enabled USB マウスサポートを有効にします。
 - ▶ Disabled USB マウスサポートを無効にします。(デフォルト値)
- ⌚ **VIA LAN Boot ROM***

この機能で、オンボード LAN チップのブート ROM を起動するかどうか設定します。

 - ▶ Disabled この機能を無効にします。(デフォルト値)
 - ▶ Enabled この機能を有効にします。
- ⌚ **Onboard Serial Port 1**
 - ▶ Auto BIOS は自動的に 1 番ポートアドレスを設定します。
 - ▶ 3F8/IRQ4 オンボードシリアルポート 1 を有効にし、IRQ4 を使用して、アドレスを 3F8 に設定します。(デフォルト値)
 - ▶ 2F8/IRQ3 オンボードシリアルポート 1 を有効にし、IRQ3 を使用して、アドレスを 2F8 に設定します。
 - ▶ 3E8/IRQ4 オンボードシリアルポート 1 を有効にし、IRQ4 を使用して、アドレスを 3E8 に設定します。
 - ▶ 2E8/IRQ3 オンボードシリアルポート 1 を有効にし、IRQ3 を使用して、アドレスを 2E8 に設定します。
 - ▶ Disabled オンボードシリアルポート 1 番を無効にします。
- ⌚ **Onboard Serial Port 2**
 - ▶ Auto BIOS は自動的に 2 番ポートアドレスを設定します。
 - ▶ 3F8/IRQ4 オンボードシリアルポート 2 を有効にし、IRQ4 を使用して、アドレスを 3F8 に設定します。
 - ▶ 2F8/IRQ3 オンボードシリアルポート 2 を有効にし、IRQ3 を使用して、アドレスを 2F8 に設定します。(デフォルト値)
 - ▶ 3E8/IRQ4 オンボードシリアルポート 2 を有効にし、IRQ4 を使用して、アドレスを 3E8 に設定します。
 - ▶ 2E8/IRQ3 オンボードシリアルポート 2 を有効にし、IRQ3 を使用して、アドレスを 2E8 に設定します。
 - ▶ Disabled オンボードシリアルポート 2 番を無効にします。
- ⌚ **OnBoard Parallel port**
 - この機能は、パラレルポートがオンボード I/O コントローラを使用している場合、与えられたパラメータセットから選択することができます。
 - ▶ 378/IRQ7 オンボード LPT ポートを有効にし、アドレスを 378、IRQ7 に設定します。(デフォルト値)
 - ▶ 278/IRQ5 オンボード LPT ポートを有効にし、アドレスを 278、IRQ5 に設定します。
 - ▶ 3BC/IRQ7 オンボード LPT ポートを有効にし、アドレスを 3BC、IRQ7 に設定します。
 - ▶ Disabled オンボードパラレルポートを無効にします。
- ⌚ **UART Mode Select**

この項目でオンボード I/O チップの赤外線(IR)機能の設定を行います。

 - ▶ Normal オンボード I/O チップ UART をノーマルモードに設定します。(デフォルト値)
 - ▶ IrDA オンボード I/O チップ UART を IrDA モードに設定します。
 - ▶ ASKIR オンボード I/O チップ UART を ASKIR モードに設定します。
 - ▶ SCR オンボード I/O チップをスマートカードインターフェースとして設定します。

** 7VT600-RZ-C 用のみ。

- ☛ **Parallel Port Mode**
 - サポートするポートモードを通してアドバンスドプリンタに接続することができます。
 - ▶ SPP パラレルポートを標準パラレルポートとして使用します(IRQ7 を使用)。(デフォルト値)
 - ▶ EPP パラレルポートを拡張パラレルポート IRQ5 として使用します。
 - ▶ ECP パラレルポートを拡張機能ポートとして使用します(IRQ7 を使用)。
 - ▶ ECP+EPP パラレルポートを ECP および EPP モードで使用します。
- ☛ **Game Port Address**
 - ▶ Disabled この機能を無効にします。
 - ▶ 201 ゲームポートアドレスを 201 に設定します。(デフォルト値)
 - ▶ 209 ゲームポートアドレスを 209 に設定します。
- ☛ **Midi Port Address**
 - ▶ Disabled この機能を無効にします。(デフォルト値)
 - ▶ 300 MIDI ポートアドレスを 300 に設定します。
 - ▶ 330 MIDI ポートアドレスを 330 に設定します。
- ☛ **Midi Port IRQ**
 - ▶ 5 Midi ポート IRQ は 5 に設定します。
 - ▶ 10 Midi ポート IRQ は 10 に設定します。(デフォルト値)

Power Management Setup

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2003 Award Software
Power Management Setup

ACPI Suspend Type	[S1 (POS)]	Item Help
x USB Device Wake-Up From S3	Disabled	Menu Level ►
Power LED in S1 state	[Blinking]	[S1]
Soft-Off by PWREIN	[Instant-off]	Set suspend type to
AC Back Function	[Soft-Off]	Power On Suspend under
Keyboard Power On	[Disabled]	ACPI OS
Mouse Power On	[Disabled]	
PME Event Wake Up	[Enabled]	[S3]
ModemRingOn/WakeOnLAN	[Enabled]	Set suspend type to
Resume by Alarm	[Disabled]	Suspend to RAM under
x Date (of Month) Alarm	Everyday	ACPI OS
x Time (hh:mm:ss) Alarm	0 : 0 : 0	

↑↓←→: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save
F5: Previous Values F6: Fail-Save Default ESC: Exit F1: General Help
F7: Optimized Defaults

- ☞ **ACPI Suspend Type**
 - ▶ S1 (POS) ACPI OS で、suspend type を Power On Suspend に設定します(電源オン サスPEND)。(デフォルト値)
 - ▶ S3 (STR) ACPI OS で、suspend type を Suspend To RAM に設定します(RAM への サスPEND)。
- ☞ **USB Device Wakeup From S3 (When ACPI Suspend Type is set [S3 (STR)])**

ACPI スタンドバイ状態が S3/STR の時、S3 からの USB デバイス・ウェイクアップを設定することができます。

 - ▶ Enabled USB デバイスがシステムを S3 からウェイクアップします。
 - ▶ Disabled USB デバイスはシステムを S3 からウェイクアップしません。(デフォルト値)
- ☞ **Power LED in S1 state**
 - ▶ Blinking スタンドバイモード(S1)では、電源 LED が点滅します。(デフォルト値)
 - ▶ Dual/Off スタンドバイモード(S1)では：
 - a. 単一色の LED を使用している場合は、LED がオフになります。
 - b. 2色の LED を使用している場合は、LED が別の色に変わります。
- ☞ **Soft-off by PWRBTN**
 - ▶ Instant-off 電源ボタンを押すと、すぐ電源をオフにします。(デフォルト値)
 - ▶ Delay 4 Sec. 電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、電源オフになります。ボタン押す時間が 4 秒間未満の場合、サスPENDモードに入ります。
- ☞ **AC Back Function**
 - ▶ Memory 電源のオン/オフは AC 停電直前の状態に依存します。
 - ▶ Soft-Off AC 復帰の時は常にオフにします。(デフォルト値)
 - ▶ Full-On AC 復帰の時は常にオンにします。
- ☞ **Keyboard Power On**

この機能はシステムの電源をオンにする方法を設定することができます。

“Password”のオプションで、システム電源をオンするに最大 8 文字の英数字パスワードを設定することができます。

“Keyboard 98”オプションでは、標準キーボード 98 でシステム電源をオンにすることができます。

 - ▶ Password キーボード電源オン機能のパスワードを 1-8 文字で入力してください。
 - ▶ Disabled この機能を無効にします。(デフォルト値)
 - ▶ Keyboard 98 “パワーキー”ボタンがキーボードにある場合は、そのキーを押すとシステム電源がオンになります。
- ☞ **Mouse Power On**
 - ▶ Disabled マウスイベントでシステム電源を入れることができません。(デフォルト値)
 - ▶ Enabled マウスイベントでシステム電源を入れることができます。
- ☞ **PME Event Wake up**

有効に設定されていると、PCI-PM イベントはシステムを PCI-PM コントロールされた状態から再開できます。

この機能を使用するには、最低でも+5VSB リードで 1A を供給できる ATX 電源が必要となります。

 - ▶ Disabled PME イベントのウェイクアップ機能を無効にします。
 - ▶ Enabled PME イベントのウェイクアップ機能を有効にします。(デフォルト値)

- ☞ **Modem Ring On/Wake On LAN (When AC Back Function set to [Soft-Off])**
 マザーボードに"WOL"オンボードコネクタがある場合、Wake On LAN 機能は"Modem Ring On/Wake On LAN"または"PME Event Wake up"で有効にすることができます。"PME Event Wake up"のみでこの機能を有効します。モデム経由の着信はシステムをソフトオフ(soft-off)モードから再開できます。有効に設定されていると、その他のクライアントからの入力シグナルがあります。
 LAN に接続されている場合、LAN 上のサーバーがシステムをソフトオフ状態から再開させます。
 - ▶ Disabled Modem Ring On / Wake On LAN 機能を無効にします。
 - ▶ Enabled Modem Ring On / Wake On LAN 機能を有効にします。(デフォルト値)
- ☞ **Resume by Alarm**
 "Resume by Alarm"項目の設定で、入力した日付/時刻にシステム電源がオンになります。
 - ▶ Disabled この機能を無効にします。(デフォルト値)
 - ▶ Enabled アラーム機能を有効にすることで、電源オンにします。
 RTC アラームによる電源オンが有効の場合。
 - アラーム日付(月) : 毎日、1~31
 - アラーム時刻(hh:mm:ss) : (0~23) : (0~59) : (0~59)

PnP/PCI Configurations

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2003 Award Software

PnP/PCI Configurations

PCI1/PCI5 IRQ Assignment	[Auto]	Item Help
PCI2 IRQ Assignment	[Auto]	
PCI3 IRQ Assignment	[Auto]	
PCI4 IRQ Assignment	[Auto]	
↑↓←→: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults		



- ☛ **PCI1/PCI5 IRQ Assignment**
 - ▶ Auto
 - ▶ 3,4,5,7,9.,10,11,12,14,15
- PCI 1/PCI 5 へ IRQ を自動的に割当てます。(デフォルト値)
3、4、5、7、9、10、11、12、14、15 を PCI1/PCI5 に割り当てます。
- ☛ **PCI2 IRQ Assignment**
 - ▶ Auto
 - ▶ 3,4,5,7,9.,10,11,12,14,15
- PCI 2 へ IRQ を自動的に割当てます。(デフォルト値)
3、4、5、7、9、10、11、12、14、15 を PCI2 に割り当てます。
- ☛ **PCI3 IRQ Assignment**
 - ▶ Auto
 - ▶ 3,4,5,7,9.,10,11,12,14,15
- PCI 3 へ IRQ を自動的に割当てます。(デフォルト値)
3、4、5、7、9、10、11、12、14、15 を PCI3 に割り当てます。
- ☛ **PCI4 IRQ Assignment**
 - ▶ Auto
 - ▶ 3,4,5,7,9.,10,11,12,14,15
- PCI 4 へ IRQ を自動的に割当てます。(デフォルト値)
3、4、5、7、9、10、11、12、14、15 を PCI4 に割り当てます。

PCI Health Status

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2003 Award Software

PC Health Status

Reset Case Open Status	[Disabled]	Item Help
Case Opened	Nb	Menu Level ►
Vcore	1.810V	[Disabled]
DDR Vtt	1.248V	Don't reset case
+3.3V	3.280V	open status
+5V	4.919V	
+12V	11.968V	
5VSB	5.053V	[Enabled]
Current System Temperature	27°C	Clear case open
Current CPU Temperature	37°C	status at next boot
Current CPU FAN Speed	4687 RPM	
Current SYSTEM FAN Speed	0 RPM	
CPU FAN Fail Warning	[Disabled]	
SYSTEM FAN Fail Warning	[Disabled]	

↑↓←→: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help
F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults

- ☛ **Reset Case Open Status**
- ☛ **Case Opened**
 - ケースが固定されている場合、“Case Opened”は“No”と表示されます。
 - ケースが開放されている場合、“Case Opened”は“Yes”と表示されます。
 - “Case Opened”的値をリセットするには、“Reset Case Open Status”を“Enabled”に設定してCMOSに保存し、コンピュータを再起動させます。
- ☛ **Current Voltage (V) Vcore / DDR Vtt / +3.3V / +5V / +12V / 5VSB**
 - システム電圧状態を自動検出します。
- ☛ **Current System Temperature (°C)**
 - システム温度を自動検出します。
- ☛ **Current CPU Temperature (°C)**
 - CPU 温度を自動検出します。
- ☛ **Current CPU FAN / SYSTEM FAN Speed (RPM)**
 - ファン速度状態を自動検出します。
- ☛ **Fan Fail Warning (CPU / SYSTEM)**
 - ▶ Disabled 現在のファン速度を監視しません。(デフォルト値)
 - ▶ Enabled 停止時にアラームが鳴ります。

Frequency/Voltage Control

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2003 Award Software

Frequency/Voltage Control		Item Help Menu Level ►
Spread Spectrum Modulated	[Enabled]	
CPU Host Clock Control	[Disable]	
*CPU Host Frequency (MHz)	133	
*PCI/AGP Frequency (MHz)	33/66	
DRAM Clock (MHz)	[Auto]	
CPU OverVoltage Control	[Auto]	
AGP OverVoltage Control	[Auto]	
DIMM OverVoltage Control	[Auto]	
↑↓→←: Move Enter: Select +/-PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help		
F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults		

※ これらの項目は“CPU Host Clock Control”が有効になっているときに使用可能です。

⌚ Spread Spectrum Modulated

- ▶ Disabled クロックのスプレッドスペクトラムを無効にします。
- ▶ Enabled クロックのスプレッドスペクトラムを有効にします。
(デフォルト値)

⌚ CPU Host Clock Control

注：システムが CMOS セットアップユーティリティ起動前にハングアップした場合は、20 秒間の再起動タイムアウト時間を使ってください。タイムアウトが起こると、システムはリセットされ、CPU はデフォルトホストクロックに戻って再起動します。

- ▶ Disable CPU ホストクロック制御を無効にします。(デフォルト値)
- ▶ Enable CPU ホストクロック制御を有効にします。

⌚ CPU Host Frequency (MHz) (By switch SW1)

- ▶ 100 CPU ホストクロックを 100MHz~132MHz に設定。
- ▶ 133 CPU ホストクロックを 133MHz~165MHz に設定。
- ▶ 166 CPU ホストクロックを 166MHz~200MHz に設定。
- ▶ 200 CPU ホストクロックを 200MHz~254MHz に設定。

⌚ PCI/AGP Frequency (MHz)

- ▶ 数値は CPU ホストクロック(MHz)に依存します。

⌚ DRAM Clock (MHz)

▶ DRAM クロックを必要に応じて設定します。(デフォルト値：自動)
DDR266 DRAM モジュールをご使用の場合は、“DRAM Clock (MHz)”を“133-DDR266”に設定してください。DDR333 DRAM モジュールをご使用の場合は、“DRAM Clock (MHz)”を“166-DDR333”に設定してください。DDR400 DRAM モジュールをご使用の場合は、“DRAM Clock (MHz)”を“200-DDR400”に設定してください。
間違った設定はシステムの故障の原因となります。パワーユーザーのみ操作してください！

⌚ CPU OverVoltage Control

CPU 電圧を上昇させると、オーバークロックに安定する可能性があります。ただし、この機能を使用すると CPU に損傷を与える可能性があります。

- ▶ Auto CPU に必要な電圧を供給します。(デフォルト値)
- ▶ +5% / +7.5% / +10% 電圧範囲をユーザー設定にしたがって増大させます。

⌚ AGP OverVoltage Control

AGP 電圧を上昇させると、オーバークロックに安定する可能性があります。ただし、この機能を使用すると、AGP カードに損傷を与える可能性があります。

- ▶ Auto AGP カードに必要な電圧を供給します。(デフォルト値)
- ▶ +0.1V ~ +0.3V AGP 電圧を 1.6V~1.8V に設定します。

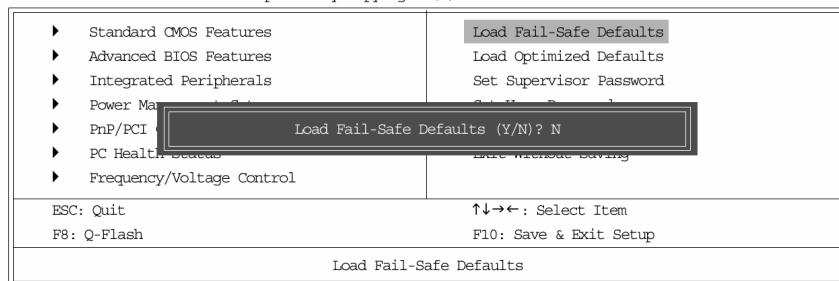
⌚ DIMM OverVoltage Control

DRAM 電圧を上昇させると、オーバークロックに安定する可能性があります。ただし、この機能を使用すると DRAM モジュールに損傷を与える可能性があります。

- ▶ Auto DRAM モジュールに必要な電圧を供給します。(デフォルト値)
- ▶ +0.1V ~ +0.3V DIMM 電圧を 2.6V~2.8V に設定します。

Load Fail-Safe Defaults

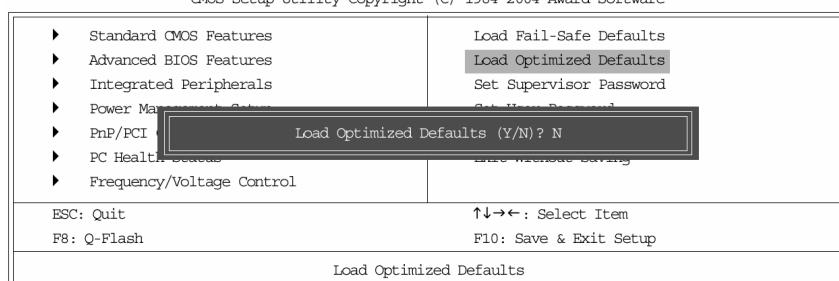
CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software



Fail-Safe defaults はシステムパラメータの最適値で構成され、システムに最低限の性能で動作します。

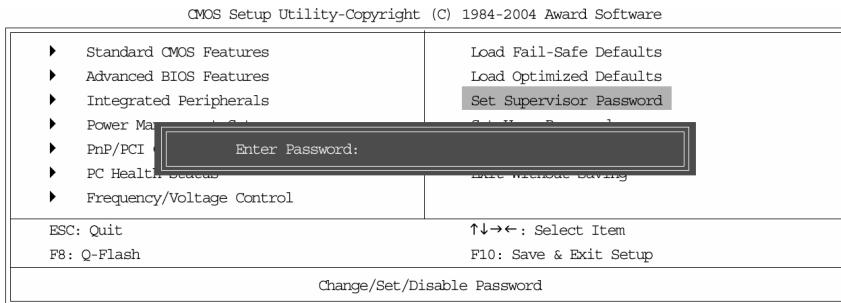
Load Optimized Defaults

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software



この設定を選択すると、BIOS の出荷時デフォルト値およびシステムが自動検知するチップセット機能がロードされます。

Set Supervisor/User Password



この機能を選択すると、画面中央に以下のメッセージが表示され、パスワード作成のヒントを提供します。

最大8文字のパスワードをキー入力し、<Enter>を押します。パスワードの確認を求められます。パスワードを再度キー入力し、<Enter>を押します。<Esc>を押すと設定は中断され、パスワード入力を中止します。

パスワードを無効にするには、パスワード入力を求められた時点で<Enter>を押します。"PASSWORD DISABLED"というメッセージが表示され、パスワード無効を確認します。パスワードが無効になると、システムが起動し、いつでもセットアップが可能となります。

BIOS セットアッププログラムには異なる2つのパスワードが使用できます。

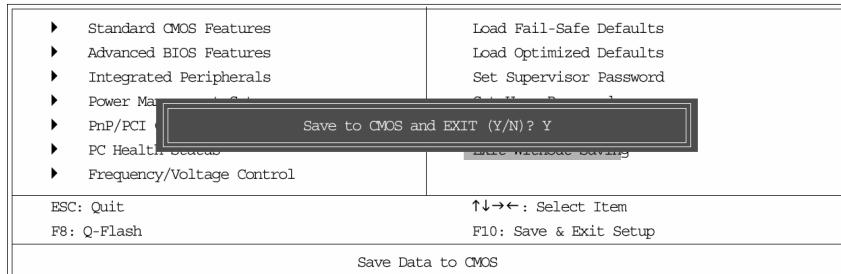
SUPERVISOR PASSWORD および USER PASSWORD です。無効にすると、誰でも BIOS セットアッププログラム機能が使用できます。有効にすると、BIOS セットアッププログラムの設定欄全てを表示するには管理者パスワード、基本項目のみ表示するにはユーザーパスワードの入力が必要となります。

詳細 BIOS 機能メニュー内の"Password Check"で"System"を選ぶと、システム再起動のたびまたはセットアップに入るたびに、パスワード入力が要求されます。

詳細 BIOS 機能メニュー内の"Password Check"で"Setup"を選ぶと、セットアップに入るときのみパスワード入力が要求されます。

Save & Exit Setup

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software

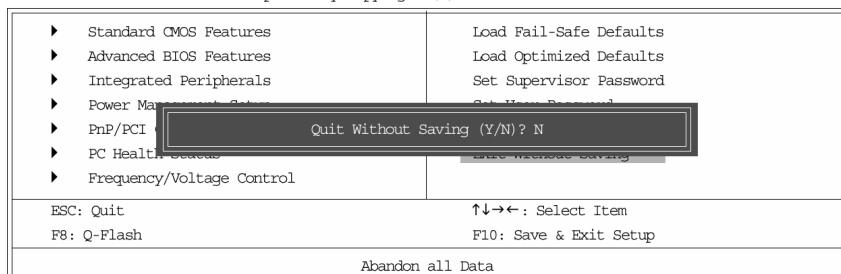


"Y"を入力すると、ユーザー設定値を RTC CMOS に保存し、セットアップユーティリティを終了します。

"N"を入力すると、セットアップユーティリティに戻ります。

Exit Without Saving

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software



"Y"を入力すると、ユーザー設定値を RTC CMOS に保存せずにセットアップユーティリティを終了します。

"N"を入力すると、セットアップユーティリティに戻ります。

第3章 ドライバのインストール

ドライバのインストール



下図は、Windows XP で表示されています

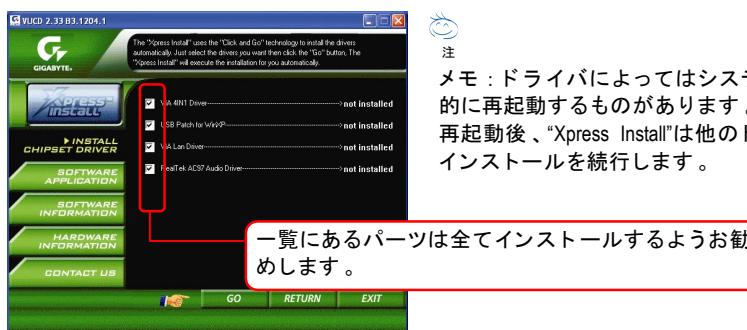
お買い上げのマザーボードに付属のドライバ CD-タイトルを CD-ROM ドライブに入れると、ドライバ CD-タイトルはオートスタートし、インストールガイドが表示されます。表示されない場合は、“マイコンピュータ”中の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックし、setup.exe を実行してください。

チップセットドライバのインストール

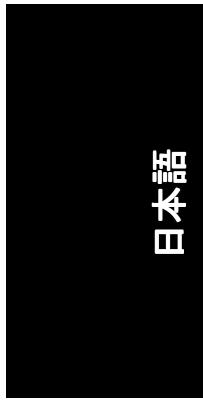
このページにはシステムにインストールが必要なドライバが示されています。各アイテムをクリックしてドライバを手動インストールするか、に切り替えてドライバを自動インストールします。



“Xpress Install”は“Click and GO”テクノロジーにより、ドライバを自動インストールします。必要なドライバを選んで“GO”ボタンをクリックしてください。はインストールを自動的に実行します。



メモ：ドライバによってはシステムを自動的に再起動するものがあります。システム再起動後、“Xpress Install”は他のドライバのインストールを続行します。



 ドライバのインストールが完了しました！
システムを再起動する必要があります！

項目の説明

- VIA 4IN1 Driver
INF、AGP、IDE および DMA 用ドライバ
- USB Path for WinXP
このパッチドライバで、XP 上で S3 から USB デバイスウェイクアップを実行するとハングアップする問題を解決できます
- VIA Lan Driver*
VT6103L チップ用の VIA 10/100 LAN ドライバ
- RealTek AC97 Audio Driver
Realtek AC97 コーデックチップセット用のオーディオドライバ
- VIA USB 2.0 Controller
XP 用の USB 2.0 ドライバ情報



Windows XP オペレーティングシステム環境での USB2.0 ドライバサポートについて
は、Windows Service Pack をご使用ください。Windows Service Pack インストール後、
“デバイスマネージャ”内の“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”的欄には疑
問符“?”が表示されます。疑問符を取り除きシステムを再起動してください(シス
テムは正しい USB2.0 ドライバを自動検出します)。

“*” 7VT600-RZ-C用のみ。

日本語

当社への御連絡

全世界の当社本支社へのお問い合わせはこのページをご参照下さい。

• 台湾

Gigabyte Technology Co., Ltd.
Address: No.6, Bau Chiang Road, Hsin-Tien, Taipei Hsien, Taiwan, R.O.C.
TEL: 886 (2) 8912-4888
FAX: 886 (2) 8912-4003
Tech. Support:
<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues):
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
Website: <http://www.gigabyte.com.tw>

• USA

G.B.T. INC.
Address: 17358 Railroad St, City of Industry, CA 91748.
Tel: 1 (626) 854-9338
Fax: 1 (626) 854-9339
Tech. Support:
<http://www.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues):
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
Website: <http://www.giga-byte.com>

• Germany

G.B.T. Technology Trading GmbH
Tel: 49-40-2533040
49-01803-428468 (Tech.)
Fax: 49-40-25492343 (Sales)
49-01803-428329 (Tech.)
Tech. Support:
<http://de.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues):
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
Website: <http://www.gigabyte.de>

• Japan

Nippon Giga-Byte Corporation
Website: <http://www.gigabyte.co.jp>

• U.K

G.B.T. TECH. CO. LTD.
Tel: 44-1908-362700
Fax: 44-1908-362709
Tech. Support:
<http://uk.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues):
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
Website: <http://uk.giga-byte.com>

• The Netherlands

Giga-Byte Technology B.V.
Address: Verdunplein 8 5627 SZ, Eindhoven, The Netherlands
Tel: +31 40 290 2088
NL Tech.Support : 0900-GIGABYTE (0900-44422983, € 0.2/M)
BE Tech.Support : 0900-84034 (€ 0.4/M)
Fax: +31 40 290 2089
Tech. Support:
<http://nz.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues):
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
Website: <http://www.giga-byte.nl>

• China

NINGBO G.B.T. Tech. Trading CO., Ltd.
Tech. Support:
<http://cn.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>
Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues):
<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>
Website: <http://www.gigabyte.com.cn>
Beijing
Tel: 86-10-82856054, 86-10-82856064,
86-10-82856094
Fax: 86-10-82856575
Chengdu
Tel: 86-28-85236930
Fax: 86-28-85256822
GuangZhou
Tel: 86-20-87586273
Fax: 86-20-87544306
Shanghai
Tel: 86-21-64737410
Fax: 86-21-64453227
Shenyang
Tel: 86-24-23960918, 86-24-23960893
Wuhan
Tel: 86-27-87854385, 86-27-87854802
Fax: 86-27-87854031
Xian
Tel: 86-29-5531943
Fax: 86-29-5539821